

# ニューウェーブ **New Wave** ウェーブ No.24

市民と市のパートナーシップが創り出す新しい波

平成20年（2008年）8月25日発行

## 男女共同参画社会に向けて

### こんな言葉の意味知っている?!



発行／横須賀市 市民部人権・男女共同参画課

## 相談窓口のご案内

**女性のための相談室** 電話 828-8177（デュオよこすか・相談専用）

女性が日ごろ抱える人間関係や生活上の悩みなどについて、女性の相談員が相談をお受けします。

- \* 一般相談（面談・電話） 毎週月・水・金曜日 午前9時～午後4時
  - \* 法律相談（面談※予約制） 毎月第3水曜日 午後1時半～午後4時半
- 法律相談の予約は、一般相談でお受けします。（お一人の相談時間は40分です）

※DV相談（夫や恋人などからの暴力の相談）は、平成20年4月に開館した「はぐみかん」内の、こども青少年支援課でお受けしています。相談電話は、822-8307です。  
はぐみかんは、小川町16番地（横須賀市役所から徒歩約1分）にあります。



**性別による人権侵害に関する苦情申し出制度** 電話 822-8228（人権・男女共同参画課）

条例に基づいて市長から委嘱された「男女平等専門委員」が書面での申し出により相談をお受けします。申し出の内容によっては調査を行い、調査先に助言や勧告、是正の要請などを行います。

申し出ができるのは、「市が実施する男女共同参画に関する施策や、他の施策で男女共同参画社会の形成に影響を及ぼすと認められる施策について不服がある場合」や、「セクシュアル・ハラスメント、女性への暴力など男女共同参画社会の推進を阻害する恐れがあり、相手側に改善を求める場合」で、市内で1年以内に発生した事案です。裁判所で係争中のものなど対象とならない事案もありますので、詳しくは電話でお問い合わせください。

平成19年度に「デュオよこすか相談室」及び「DV相談窓口」でお受けした相談件数は1,818件でした。また、性別による人権侵害の申し出件数は1件でした。

図書は、夫婦の問題、仕事、子育て、女性の心や体に関するものがあります。資料は、男女共同参画に関する統計や自治体の取り組み計画などがありますので、自由研究や調べ物にご利用ください。数人で使えるテーブルもあります。

### 編集後記

◆ドーン!と鳴る花火は遠い音。ドーン、ドーンは近くの花火。夏の風物詩がアッチコッチで競演中。花火の形も随分進化したなあ。球状からスターメイン、木星、ドラえもんなど一瞬の絵物語が夜空へ舞い上がる。花火師の日ごろの研究心と努力に感銘を受けます。もっと永い時間見ていたい。“停まる花火”なんかできるとすばらしい。そして“男女共同参画”の仕掛け花火が見られるとさらに感動だけ。。（今井康治）

◆源氏千年紀と世の中が浮かれている。そこで私は考えた。あの雅な平安貴族社会に男女共同参画は在りえたか？家事も育児も人任せ、身の回りだって女房たちがしてくれる。ましてや貴女は御簾ごしに公達と会うだけ、姿など見られようものならハンタナイ。うーん、そんな世界に男女共同参画はおよびでない。およびでないまま男も女も和歌を詠じ琴を奏でた。しかし今や男女共同参画を根底に、いにしえから受け継がれた美しいDNAを優雅に発揮すべく時がきた。日本人としての心を見つめ、世界に適用する男女共同参画社会。そんな自慢できる国になったらいいな！（岩森治美）

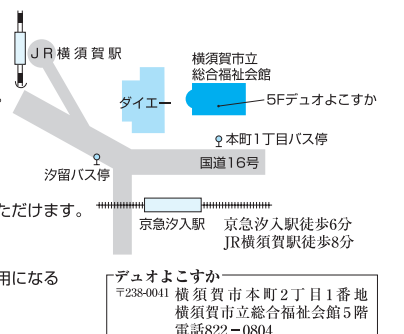
◎この広報紙は10,000部作成し、1部あたりの印刷経費は10.4円です。

### デュオよこすか

施設・交通のご案内

男性も女性も、社会の構成員として個性と能力を発揮できる社会。その実現のための、足掛かりにしていられるような施設を目指しています。

- 開館時間 平日・土曜日 9:00～21:00  
日曜日 10:00～17:00  
休館日 年末年始（12月29日～1月3日）  
設備保守・点検のため臨時休館があります。
- 図書 貸し出しも行っています。  
期間 2週間  
冊数 3冊まで  
対象 個人
- パソコン インターネットによる情報収集にご利用いただけます。（原則として、お一人1時間まで）
- ビデオ DVD デュオルーム内でご覧いただけます。貸し出しはいたしません。研修等にご利用になる場合は、ご相談ください。
- コピー 有料でご利用いただけます。



この広報紙の企画編集は、公募の市民の方によって支えられています。皆様のご意見や感想をお待ちしています。

横須賀市市民部人権・男女共同参画課 〒238-8550 横須賀市小川町11 ☎ 046-822-8228  
e-mail we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp  
ホームページ <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/gender/>

最近、雑誌や新聞などでよく目にする男女共同参画に関わるカタカナ単語。  
 なんとなく大事そうな言葉だということは分かるけれど、でも、いまひとつその意味が分からない、という方も多いはずでは。  
 そこで、今回は最も見かける三つの言葉をニューウェーブ流にまとめてみました。

『納得できる自分らしい生活が送れるように、仕事と暮らしのバランスをとる』

共働き世帯が増加し、仕事と家庭を両立したいと願っている人が多くなりました。  
 仕事と仕事以外の生活（家庭や地域など）をうまく組み合わせ、自分流のライフスタイルを確立するには、まず、無理なく両立できる環境が整っていることが必要です。それには、性別に伴う差別や格差のない誰もが平等で対等な社会をめざすことが前提になってきます。  
 そのために？

仕事と暮らしのバランスがとれるように、個人の意識を高め、社会環境を改善していくという動きがでています。  
 「子育てと仕事」「家事と仕事」「子供の教育と仕事」「地域活動と仕事」、そして「趣味と仕事」など、あらゆる生活の場面でバランスがとれるように、これからもますます、企業や行政の立場からの支援が必要になるでしょう。  
 例えば、男性の育児休暇など、男性も教育や育児に携わりやすい制度や職場の雰囲気づくりの取り組みもその一つです。

仕事をガンガンやりたいのに、抑えなくちやいないの？

生活に無理なく心のバランスがとれていたらいいね

ワーク・ライフ・バランス 仕事と生活の調和

『男女の区別なく平等に社会参加できるように、積極的な改善に取り組む』

女性という理由だけで遅れていた昇進や教育の状況を解消し、男女間の差をなくしていくという取り組みをする企業や団体が増えてきました。  
 企業での固定的な男女の役割分担や過去の経緯から「女性は重要な場面で発言しにくい」「管理職につきにくい」などの傾向がありがちですが、その改善策として自主的・積極的な取り組みをすることで、職場での男女の均等な機会や待遇の確保を可能にすることが出来ます。  
 そのためには？

企業などが組織的に「ポジティブ・アクション」に取り組む一方、国や地方自治体は、相談窓口の設置やガイドラインの作成と、実施状況の公表などを通じてサポートをしています。  
 その成果は？  
 ■女性による企画や開発テーマの提案で商品力が強化し、営業力が広がった。  
 ■働きやすくてやりがいのある会社環境に改善され、社員の定着率が向上した。

女性にゲタを履かせたり、えこひいきする取り組みなの？  
 だったら男性が損をするのでは？

男性は長いことゲタを履かされる側にあつたのでは？  
 性別に関わらず能力や適性で判断されるような組織を目指します。

ポジティブ・アクション 積極的差別是正措置

ジェンダー 社会的性別

『気付かないうちに使っている男だから女だからという区別の言葉』

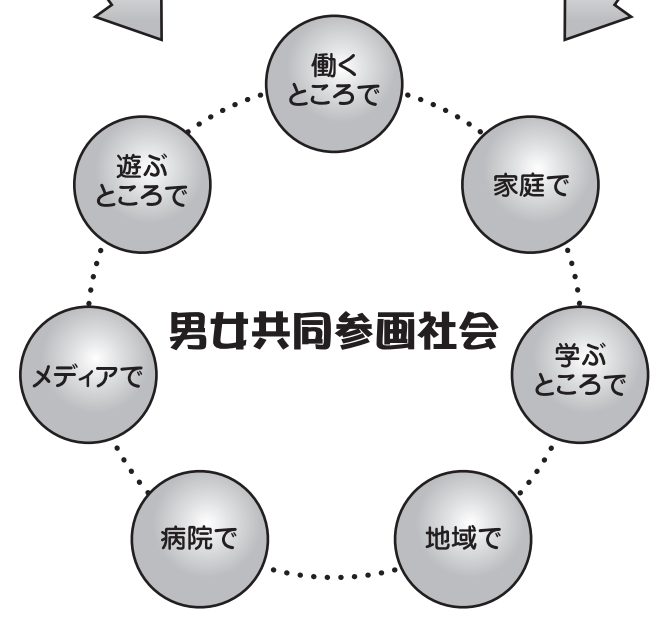
人が生活している中で社会通念や慣習で作り上げられた「女だから男だから」の考え方がありますが、このような男女の性による区別をジェンダーと言います。  
 ジェンダーは、それ自体に良いとか悪いとかの意味づけがあるわけではありませんが、「男は外で働く」「女は家庭を守る」「力仕事は男の役割」「育児・介護は女の仕事」といった、性別によって役割を決め付ける社会の慣行などが、人々に都合が悪ければ、それは変えることもできるのです。  
 男女ともに誰もが参画できる社会をスムーズにつくるには、ジェンダーの意味をもっと掘り下げていく必要があります。

専業主夫じゃいけないの？  
 専業主婦じゃいけないの？

育児や介護は女性の方がうまいから...

個人の生き方として否定するものではないでしょう。  
 これからは「専業主夫」も増えていくのでは？

もちろん適性などを考え話し合えば役割分担するのはいいことですが、まずは性別による決まりごとを考えず、男女の壁をはらってみてはどうでしょう。



- こんなカタカナ言葉もあります
- \*リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する女性の健康/権利)
  - \*セクシュアル・ハラスメント (性的嫌がらせ)
  - \*ドメスティック・バイオレンス (配偶者や恋人からの暴力)

言葉の意味が、少しだけでもご理解いただけただけでしょうか？

まだまだ浸透途中の言葉なので、意味の誤解や誤用もありがちですが、より身近な言葉の種として、一人ひとりの心の中に種まきをしてみませんか。その種から芽がでて葉が生え、そして確かな木に成長して実がなったら、今よりずっと心の負担の少ない住みよい世の中になっていることでしょう。

まずは自分とは関係のない言葉だとは思わずに、また、言葉だけ一人歩きしないように、意識を傾けて現在の生活や環境を見つめ直してみたいかがでしょう。  
 子どもたちやその次の、もっと次の世代の人たちが、今よりずっと生きやすい環境で暮らせるためにも.....